

平成29年度学位授与式 式辞

本日ここに、平成29年度岐阜薬科大学学位授与式を挙りましたところ、公私とも大変ご多忙にも拘わらず岐阜市長 柴橋 正直様、岐阜市議会議長 須田眞様、岐阜大学長 森脇久隆様、同窓会長 宇野進様、後援会長 吉元一弘様、元本学学長 水野 瑞夫様はじめ多くのご来賓の方々に、ご臨席を賜り、心より厚く御礼申し上げます。

ただいま、博士（薬学）7名、同じく博士（薬科学）6名に、また、修士（薬科学）47名、並びに学士（薬学）85名、同じく学士（薬科学）37名に、それぞれ学位を授与いたしました。

学位を取得されました皆様方には、本当におめでとうございました。皆様方には、今日（こんにち）を迎えるまでには、楽しかったことや、うれしかったこと、また時にはつらかったことなど、様々な経験をされたことと思いますが、それらの経験を今後の人生の糧とし、一層励んでいただきたいと思います。

また、その時々には励ましや、ご支援・ご指導をいただいた、指導教員はもとより、ご両親・ご家族、友達などに感謝の気持ちを忘れないでいただきたいと思います。

いずれにいたしましても、これまでの皆様方のご努力に対し、心より敬意を

表します。

また、ご臨席いただいておりますご家族の皆様方におかれましても、そのお喜びは、ひとしおと存じます。心からお祝い・お慶びを申し上げます。

さて、皆様方には、岐阜薬科大学を巣立ち、医療の現場や医薬品の研究・開発の分野、あるいは基礎研究や行政分野など、様々な分野で、本学で学んだ薬学の知識を活かしてご活躍されることと存じますが、皆様方が進まれる薬学・医療の分野は、今、大きな変革・改革が求められております。

医療・健康分野におきましては、ご承知のとおり、我が国は世界でも類を見ない超長寿社会・高齢化社会を迎えております。一方で平均寿命と健康寿命の差が男性は9歳、女性は12歳もあることから、医療費の高騰などの問題があり、健康寿命の延伸が国を挙げた大きな課題となっております。

このため、国などにおいては健康寿命の延伸を図るため、在宅医療を含めた最適な薬物療法の提供、セルフメディケーションの推進、地域包括ケアシステムの構築など多くの施策が進められております。

これらを適切に推進するためには、例えば、病院などの医療機関においては、チーム医療の中で、がん専門薬剤師など「高度専門薬剤師」が、また、市中の薬局においては地域包括ケアシステムを推進するための「かかりつけ薬局・薬剤

師」など、「薬の専門家」としての薬剤師への期待が一層大きくなっております。

こうした中で、皆様方は今後、自分は何をすべきかを常に自問し、日々研鑽していただきたいと思います。

また、医薬品の研究・開発、創薬と呼ばれる分野におきましては、国においては医薬費を抑制するため、後発医薬品いわゆるジェネリック医薬品の普及に力を入れておりますが、人生100年時代を迎え、国民の健康を守るためには、さらなる新薬の開発が必要であります。

皆様方には高い志と、岐阜薬科大学の卒業生としての誇りを持って、今後一層、医療分野で存在感を示すべく努力されることを大いに期待しております。

いずれにいたしましても、社会に出られたら、今まで以上に勉強・努力が必要であります。素晴らしい人生、楽しい人生を歩んでいただくためにも、一層の精進・ご努力を期待しております。

そこで本日は、私の今までの経験を踏まえ、皆様方がこれから社会で活躍されるために身につけておいてほしい心構えを一つお話しし、饞（はなむけ）の言葉とさせていただきたいと存じます。

それは、江戸時代の儒学者であります佐藤一斎（いっさい）が書いた「言志録（げんしろく）」に書かれている教えであります。「言志録」は西郷隆盛や吉田松陰、坂本竜馬達が心酔した書であり、幕末の変革期を迎えた時代を生きる多くの日本人の心の支へとなり、励ましとなった書と言われており、まさに現代の変革期に通じる書であります。

この「言志録」の中に、

「石重し、ゆえに動かず。根深し、ゆえに抜けず。人はまさに自重を知るべし。」

という言葉があります。これは、「石は重いから動かないし、大木は根が深いから抜けないのである。人もこれと同じように自らを重くし、他によって軽々しく動かされないように、常に工夫・努力をしなければならない。」ということでもあります。

具体的な例としては、何か物事を決める場合、「周りのみんなはこう言っているけれど、ちょっと待てよ」とか、「もしかしたら、こういうこともあるのでは？」と、一旦踏みとどまること。後から、「あの時、なぜ気がつかなかったのだろう」と後悔しても悔いが残るだけです。「周りの雰囲気流されない「自重の人」になることも必要である」と、説いております。

是非、皆様方も「自重の人」になるよう、常日頃から訓練、経験を積んでいた

だきたいと思います。

皆様方は大きな可能性を持っています。これからの長い人生、自分自身の可能性を信じ、岐阜薬科大学の卒業生としての誇りを持って、前向きにしっかり努力し、取り組んでほしいと思います。頑張ってください。

私ども岐阜薬科大学の教職員一同は、本日、自信を持って、皆様方を社会に送り出すことができることに、大きな喜びを感じております。

どうか、健康に十分ご留意され、大いに活躍され、大きく羽ばたかれんことを祈念しております。

最後になりますが、皆様方には卒業後も母校・岐阜薬科大学の更なる発展にご協力いただくことをお願いいたしまして、私の式辞とさせていただきます。

本日は誠にありがとうございました。

平成30年3月10日

岐阜薬科大学長 稲垣 隆司